

桂福点 講演内容のご紹介

タイトル 「出会いは心の光 ～障がい者理解をすすめるために～」

自分自身が一人の視力障害者として生きてきて感じた社会に対する思い、どのようにして障害者の理解と社会活動の幅を広げ、障害がある人・障害を持たない人、共に支え合い生きていけるかを、経験を通して語らせていただきます。また、障害者として落語の世界になぜ入ったか、いろいろなエピソードも交えて話せたらと思っています。

落語は障害者理解をテーマにした創作落語を一席語らせていただきます。そのあと、会場の方々にもご協力いただいて、視覚障害者の生活を体験するコーナーなどを行います。

順序および時間配分は概ね、講演約 分、創作落語約 分、障害体験コーナー約 分くらいです。途中休憩は入れておりません。

- 当日準備いただきたいもの（別紙「会場設営基本形」もご参照ください）
 - スクリーン・プロジェクター・・・講演中に随時使いますので、本人と被らない位置に設置します。
 - プロジェクターそのものは小型なら持参も可能です。
 - 透明なビニール袋・・・縦 センチ、横 センチ程度のもの。
 - 昔からあるやわらかい透明なビニール袋（スーパーでロールに巻いてあるような、半透明のタイプは不適當です）



←こういうタイプです

↓こちらではありません



※来場者全員に1枚ずつ入場時に配っていただきたく思います。
講演中、本人の視力がどのように低下していったか、疑似体験していただきます（来場者の方には使い方は内緒に願います）。

- 講演内で創作落語は語らせていただきますし、笑いの要素は十分入っておりますが、チラシや広報物へは、あくまで「講演会」として掲載いただき、落語会と受け取られる表現は用いられないようお願いいたします。

ご不明な点などございましたら、石井（福点落語を聴いたろ会事務局）
携帯 までご遠慮なくお問い合わせくださいませ。